
はなび2009

ひやとい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

はなび2009

【コード】

N1204H

【作者名】

ひゃとい

【あらすじ】

惰性で学校に通う中3の新潟男は今日も理解できない授業を受けるが、突然ハプニングが起こる。

(前書き)

オチとかはないです。

昼下がり。

給食の時間が終わっても新潟男は誰とも遊ぶことなく机に身を置いていた。

新は中学3年になるまで何の目的もなく学校に来ていた。

しかし誰一人友達になることもなかった。

いじめの対象になることもなかった。

誰からも見向きもされなかった。

たまに声をかけられたと思えば、黒板が見えないからどけ、というようなことばかりだった。

新はしかし、そのような自身のあり方に臨界点を感じていた。

このままでいいのか、いいのか……そう思うと、新の心中は穏やかではいらなかった。

休憩時間が終わり、授業が再開された。

白衣の教諭が来た。

何も話さず。

新には理解できないことばかりをひたすら板書していく。

誰とも言葉を交わしたがらない。

そんな雰囲気醸し出していた。

新はこの教諭が好きだった。

自分と同じにおいを感じていたからだった。

しかし、好きであるということと授業内容とが、新にとっては一致していなかった。

教諭は好きだけど教科が好きになれない。

そんなジレンマが新の頭の上にも渦を巻いていた。

「ああ、せめて先生が。」

僕のわかる言葉で話をしてくれたらいいのに。

新は自分の無能さを、この時間いつも呪うのだった。

実際、新はすべての教科が理解できなかった。

義務教育という理由だけで学校に来ているに過ぎなかった。

新にとって、学校は苦痛なものでしかなかった。

他にやることもなく、家においても親に怒られるから来ているだけだった。

ああ、どこか遠いところに行きたいなあ。

新はそんな時、遠いところに行ってなにかをしている妄想で時間をやり過ごしていた。

好きなはずの教諭の授業ですら、そうせざるを得なかった。

新は、テレビで見た旅番組の画を思い出していた。

その番組は主に温泉紹介のためのものだった。

紹介途中の、タレントが電車に乗っている画が新には魅力的だった。

旅を試してみたい。

とにかくなんでもいいから、電車に乗ってぼんやり景色を見たい。そう思うと、新の視界からすべての現実が入らなくなっていった。

その時。

突然、教諭が新を指差した。

「おい、新。おまえヨダレたらしてんぞ」

今まで教諭はそんな行為をしたことがなかった。

新は、そのことに意表を突かれた格好になった。

車。

バイク。

電車。

飛行機。

新は自分が持つパワーに驚きを隠せなかった。

新たな能力に気づくたび。

喜びが増していく。

増していくと同時に、新のスピードも増していった。

走る、走る。

新はもはや走るだけの機械と化していった。

そして気づくと崖だった。

断崖絶壁。

しかし新は迷うこともない。

そのまま駆け抜けた。

新の体はまっさかさまに。

暗い海へと落ちていった。

しかし新の表情には、喜び以外のものはなかった。

(後書き)

いわゆる不条理ものです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1204h/>

はなび2009

2010年12月9日14時14分発行